

平和記念だより 83

2022年4月

◆編集・発行/高松市市民政策局人権啓発課 高松市平和記念館
◆連絡先/高松市松島町一丁目15番1号 たかまつミライエ5階
〒760-0068 TEL(087)833-2211 FAX(087)833-2244

小・中学生のための平和講演会

「小・中学生のための平和講演会」は、次世代を担う小学生や中学生に平和の尊さを理解してもらうため、令和元年度にスタートした事業です。戦争の実相を伝えるために、講師の方がそれぞれの経験したことや、実際に起こった出来事について子どもたちに語ります。高松市立大野小学校、高松市立新番丁小学校で開催した令和3年度の平和講演会について紹介します。

高松市立大野小学校

- 開催日：令和3年12月15日(水)
- 内容：高松空襲
- 講師：浄土卓也さん
- 対象：大野小学校6年生(72名)



浄土さんから空襲や焼夷弾についての説明を聞いた児童たちは、高松での空襲の被害を現実起こったこととして受け止めていました。また、実話をもとにした紙芝居「30年目の僕の遺骨」では、児童が朗読に参加することで戦争の悲惨さをより深く実感しているようでした。

講演後、「空襲について詳しく知っている人から教えてもらえてよく分かった。」「世界から戦争や空襲をなくしたい。」といった声が児童から聞かれました。

高松市立新番丁小学校

- 開催日：令和4年1月12日(水)
- 内容：広島での原爆体験
- 講師：長尾昭雄さん
- 対象：新番丁小学校6年生(134名)



16歳のときに広島で被爆し、大勢の仲間が命を落とす中、自身も大けがを負いながら奇跡的に生還した体験談が真に迫ります。長尾さんのお話には、大切な命を守るためには平和でなければならないという強い思いが込められています。児童たちにその思いは伝わっているようでした。

児童からは、「戦争は人の心を傷つけ、その後の人生までも傷つけるものだ分かった。」「長尾さんのように語り継いでいくのは、今度は私たちだと感じた。」等の感想が寄せられました。

高松市戦争遺品等収蔵品巡回展「牟礼町」



戦争遺品等収蔵品巡回展の様子

令和4年2月26日(土)から3月18日(金)まで、石の民俗資料館エントランスホールで「戦争遺品等収蔵品巡回展」を開催しました。戦争遺品等28点と高松空襲関係資料、戦時下のくらしの写真・絵画のパネル23点を展示しました。戦争遺品は、出征国旗や鉄兜、当時の教科書等で、何点かは近隣の牟礼・庵治地区の方々から寄贈されたものです。また、パネルも庵治国民学校で薙刀の訓練をしている写真や五剣山に飛来したグラマン戦闘機を描いた絵画等、地元ゆかりのあるものを展示しました。

巡回展をご覧になった方からは、「平和のありがたさを確認することができた。」「風化しないよう、大切に保存して後世に伝え、戦争の悲惨さを忘れないでほしい。」等の感想をいただきました。ご来場の皆様、ありがとうございました。

平和映画☆上映会のお知らせ

平和記念館映像学習室において、次のとおり平和映画を上映します(無料)。

4月の上映 「野坂昭如・戦争童話集第一話～第三話」(64分)

日時▶ 開館日の土・日・祝日、午後2時～

解説▶ 「小さい潜水艦に恋をしたでかすぎるクジラの話」。日本海軍の潜水艦に恋した一頭のクジラが繰り広げる、美しく哀しいラブ・ストーリー。その他「凧になったお母さん」「年老いた雌狼と女の子の話」の全三話。幻想的な映像と軽妙なBGM、著名人の語りによる紙芝居風アニメーション。



5月の上映 「ぞう列車がやってきた」(80分)

日時▶ 開館日の土・日・祝日、午後2時～

解説▶ 戦争が激しくなる中、「動物園の猛獣を処分せよ」という命令に反抗し、象を守り抜いた名古屋、東山動物園の人々の姿を描いた長編アニメーション。やがて、終戦を迎え、日本でたった2頭生き残った象を見るために各地から大勢の子どもたちを乗せた「ぞう列車」がやってくる。



6月の上映 「いわたくんちのおばあちゃん」(20分)

日時▶ 6月4日～6月19日の土・日、午後1時～

※「高松空襲展」開催のため、25日(土)、26日(日)はありません。

解説▶ 寛太の友達、岩田くんのおばあちゃんには、同じ写真に写った自分以外の家族が、広島に投下された原爆で命を落としたという悲しい経験がある。おばあちゃんの話や聞きうちに、寛太は原爆や戦争のことを自分の問題としてとらえ、平和を願う気持ちを強くする。実話をもとにした短編アニメーション。



※ 都合により、上映作品・期間等を変更することがあります。

▼令和4年度行事予定▲

5月

● 平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭

期 日 令和4年5月14日(土)
場 所 たかまつミライエ1階 多目的室
内 容 絵本朗読「^{くにた}柞田飛行場」
映画「あの日のオルガン」

6,7月

● 高松空襲展

期 日 令和4年6月25日(土)～7月4日(月)
場 所 たかまつミライエ5階 平和記念館
内 容 高松空襲の被災写真・絵画・資料パネルを展示

7月

● 高松市戦争遺品展

期 日 令和4年7月12日(火)～7月18日(月・祝)
場 所 瓦町 FLAG 2階 コンコース
内 容 高松空襲と戦争に関する写真・パネル・資料を展示

8月

● 教職員のための平和教育講演会

期 日 令和4年8月1日(月)
場 所 たかまつミライエ 部屋については未定
内 容 講演(内容未定)と「平和学習」の説明

● 原爆写真展 ～SDGs 未来に向かって平和と公正な社会を～

期 日 令和4年8月4日(木)～8月10日(水)
場 所 瓦町 FLAG 8階 IKODE 瓦町展示コーナー
内 容 原爆関連資料と SDGs に関する資料を展示

11月

● 高松市戦争遺品等収蔵品巡回展

期 日 令和4年11月18日(金)・19日(土)
場 所 田村文化センター
内 容 市民の皆様から寄贈された戦争遺品を中心に展示

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大などの状況により、開催を中止・延期する場合があります。



収蔵品
紹介73

あいこくふじんかいさんとうゆうこうしょう

愛国婦人会参等有功章

寄贈者 佐々木 保 様

「愛国婦人会有功章」と裏に刻まれた記章。安全ピンで留めるようになっている。木箱（縦 10cm×横 7cm×高さ 2.7cm）に入っており、その蓋には「愛国婦人会参等有功章」と刻まれている。内側には紫色の起毛布が貼られている。

寄贈者の母親が所持していたものであるが、この他に、記念写真と木箱に「特別会員章」と表記されたもう一つの記章と一緒に保管されていた。幅 1m を超える有功章拝受者記念写真には、「昭和 12 年 4 月 5 日於玉藻城」と表記されている。この 1 枚の写真には大勢の女性が写っており(900人以上)、寄贈者の母親もその中に入ると思われる。



平和記念館「最近の寄贈品」コーナーに展示中

戦時用語解説 65

愛国婦人会

【読み】 あいこくふじんかい

【分類】 戦時中の社会

「戦う兵士に余計な心配をさせてはいけない」との動機から、1901(明治 34)年に結成された婦人団体。出征兵士の湯茶の接待、傷病兵の慰安、戦死者の遺族の援護などを行っていた。平時には、不況に苦しんでいる主婦に内職を世話するなど、社会福祉団体の性格を備えるようになっていた。後に、「大日本国防婦人会」、「大日本連合婦人会」が設立され、三団体が競い合って活動した。

1942(昭和 17)年 2 月に三つの婦人団体は統合され「大日本婦人会」が発足し、20 歳以上の婦人が強制加入させられた。国策に沿って、愛国貯金運動や千人針集め、前線へ慰問袋を送る運動などを推進した。

参考：「戦争とくらし百科」

早乙女勝元 監修 日本図書センター

「続・日本軍隊用語集」

寺田近雄 著 立風書房

編集メモ

高松市平和記念館の展示は、戦前の高松から始まり、空襲、終戦、復興、平和への取組みに至る経過をたどれるよう、四つのゾーンから構成されています。その一つ「平和への取組み・核兵器の廃絶」ゾーンの展示資料の一部をリニューアルしました。広島、長崎に投下された原子爆弾や核兵器についての資料を充実させ、核兵器禁止条約等の世界の情勢については最新のデータに更新しています。さらに SDGs についての説明パネルを新設しました。ご来館の際は、新しくなった「平和への取組み・核兵器の廃絶」ゾーンにぜひお立ち寄りください。



たかまつミライエ

高松市平和記念館（たかまつミライエ 5 階）

開館時間：午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始12/29～1/3

入館料：無料

▼ホームページアドレス（平和啓発の推進事業がご覧いただけます） ▲QR コード

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/shinotorikumi/jinken/keihatsu/heiwa/index.html>



▶次回 84 号発行は、2022 年 7 月です。